

中川 大 氏 (なかがわ・だい)

1956年、京都市生まれ。小学校から高校まで富山県朝日町で暮らす。都市交通政策のスペシャリストで、富山ライトレールなど各地の公共交通再生に関わってきた。京都大学教授を経て 2017 年から京都大学名誉教授、富山大学副学長。2018年4月開設の都市デザイン学部担当。

田中 幹夫 氏 (たなか・みきお)

1961年、南砺市(旧利賀村)生まれ。会社員、村役場職員、市議1期を経て、2008年から南砺市長。過疎地に生まれ、地域の素材を活かしたまちづくりを実践してきた体験を生かし、「世界に誇れる一流の田舎」を目指す。

島 正範 氏 (しま・まさのり)

1959年、高岡市生まれ。路面電車を活用した岡山市の市街地活性化運動と出会い、1998年に RACDA 高岡を結成。存廃に揺れた万葉線の第三セクター化を草の根運動で支えた。